

大阪市立清水小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。（出席日数の増加等）</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめの解消に向けて対応している割合を毎年 95%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合 83%以上にする。</p> <p>○学校保護者アンケートにおける「友だちとお互いの違いを認めながら仲良くできている」について、「とても思う（思う）」と答える保護者の割合を 93%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 74%以上にする。</p> <p>○学校保護者アンケートにおける「学校は情報発信を積極的に行っている」の項目について、「とても思う（思う）」と答える保護者の割合を 93%以上にする。○児童アンケートにおいて「読書が好きである」について、「とても思う（思う）」と答える児童の割合を 77%以上にする。</p> <p>○児童アンケートにおいて「読書が好きである」について、「とても思う（思う）」と答える児童の割合を 77%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1－1 いじめへの対応】 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや差別について全校児童で考える場の設定をする。 ・定期的に人権教育に関わる研修を行い、児童理解の深化充実を図る。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・年3回以上人権・平和・仲間づくりについて考える全校集会を行う。 ・月1回以上の児童理解の場やスマスク「心の天気」の活用、学期に1回以上のいじめアンケートを実施することで、児童の実態把握に努める。 ・QUを活用し、学級集団を分析するとともに仲間づくりに生かす。 	
取組内容②【施策1－5 防災・減災教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・地震（津波）、火災、台風を想定した避難訓練を行うなど、災害時に備えた訓練を行い、自ら危険を回避するために主体的に行動する態度を育成する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回以上避難訓練を行う。 ・地域、保護者、学校合同の総合防災訓練・防災学習を年1回行う。 	
取組内容③【施策2－1 道徳教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活目標や強調週間を設け、子どもたちの規範意識を高める。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなのやくそく」をふり返り、安全に学校生活を送る意識を高める。 ・「あいさつ週間」に年間1回以上取り組む。 ・「整理整頓を意識した生活」について強調週間を設ける。 ・交換授業などによる道徳の授業も充実させながら、全教育活動を通して「きまりやルール」を守る意識を高める。 	
取組内容④【施策2－1 道徳教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班活動や児童会活動の活性化を図り、異学年交流を深める等、仲間づくり、集団育成に取り組む。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班で、全校遠足や児童集会、清水まつりを実施する等、異学年同士のつながりが深くなるよう取り組む。 	
取組内容⑤【施策2－4 インクルーシブ教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育を推進し、児童の自立を支援するシステム・環境整備を進める。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の部会や個別の課題について検討する場を設定し、教職員間の共通理解を図る。 ・「学校と親の会」を学期に1回開催し、学校と保護者の連携を図る。 ・校内のユニバーサルデザイン化に向け、教職員研修を年1回実施する。 ・近隣の特別支援学校と交流を通して、障がいについての知識、理解を深める。 	

<p>取組内容⑥【施策 8－1 「生涯学習大阪計画」に基づいた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページ等を活用し、積極的に児童の活動や学校の様子を情報発信するとともに、保護者や地域の声を学校教育の改善に活かしていく。 ・様々な交流活動を通して、自他を思いやる気持ちを育てる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年でホームページの更新を週2～3回行い、常に新しい情報を発信するようする。 ・地域とのふれあい栽培活動を実施する。(さつまいも栽培、花菖蒲等) ・近隣幼稚園、保育所との交流会を実施する。 	
<p>取組内容⑦【施策 8－2 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館開放等、図書ボランティアや読み聞かせボランティアとの連携のもと意欲をもって読書に親しむ環境を整える。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書カード等を活用し、一人あたりの読書量を増やす。(低・中・高別) ・魅力ある「学校図書館」を目指し、読書環境整備を行う。 ・読み聞かせ会、アニメーション等、読書の楽しさを伝える取り組みを進め、読書に親しむ機会を増やすことで、図書館の利用を増やす。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式 2)

大阪市立清水小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>○学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、33%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 63%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である「握力」「反復横跳び」「長座体前屈」の平均記録を、昨年度より向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2－5 多文化共生教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な体験活動を通して、児童自らが自主的・自発的に国際理解、多文化共生の学びに取り組む機会を充実させる。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク等、体験的な活動を計画し、実施する。 ・芸術文化の観点でふれ合う（観劇鑑賞を含めた）機会を年1回以上設ける。 ・総合や学級活動を通して、児童が主体的に学ぶ国際理解・多文化共生教育の場を設定する。（環境教育、日本の伝統文化、SDGs等も含む） ・民族講師やC-NET等との交流を全学年で1回以上実施する。 	
取組内容②【施策4－3 英語教育の強化】 <ul style="list-style-type: none"> ・全校で外国語教育を推進する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・朝のモジュール10分×週2回を設定し、全学年で外国語活動を実施する。 ・校内研修会を年2回以上実施し、効果的な授業実践を行う。 	
取組内容③【施策4－2 「主体的・対話的で深い学び」の推進（各学校の実態に応じた個別支援の充実）】 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の「わかる、できる、やってみたい」気持ちを育む授業研究や公開授業を通して、授業力の向上を図る。 ・「主体的・対話的で深い学び」へとつながる授業実践に努める。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・全員が1回以上の研究授業等を行い、年間12回以上実施する。 ・メンター研修を中心に、外部講師による授業実践を実施する。 ・研究主題に基づいた研修会や討議会を、学期に1回以上実施する。 	
取組内容④【施策4－2 「主体的・対話的で深い学び」の推進（各学校の実態に応じた個別支援の充実）】 <ul style="list-style-type: none"> ・朝のチャレンジタイムの充実を図ると共に、自主学習教材を工夫し、児童自ら学習を進めていく力を育成する。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジタイム（国・算）で使用する自主学習プリントの内容を工夫する。 ・「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習への啓発・自主学習の充実に取り組む。 ・自主学習教室で使用するプリントを充実させ、児童の意欲を高める。 	
取組内容⑤【施策5－1 体力・運動能力向上のための取り組みの推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・運動する喜びやできる喜びを感じる活動を通して、体力向上への意識を高める。 ・新体力テストを全学年が全種目実施し、分析結果を体育の授業に活かす。 	
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びやなわとび、かけあし等の取組時間を設定し、体力作りに努める。 ・トップアスリートの招聘や体力サポート事業を活用し、運動への意欲付けを行う。 ・新体力テスト結果を分析して、課題を意識した運動を体育の学習に取り入れる。 	

<p>取組内容⑥【施策5－2 健康教育・食育の推進】 児童自ら生活習慣を振り返る取組を通じて、健康を保持する意識を高める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣アンケートを年に2回実施し、課題を分析し、生活改善に努める。 ・「新しい生活様式」について、意識を高める取り組みを進める。 ・学校保健委員会を年1回実施するとともに、保健だよりや委員会活動を通じて保護者、地域、児童への啓発を行う。 	
<p>取組内容⑦【施策5－2 健康教育・食育の推進】 ・食べ物の働きを知り、バランスよく食べることの意識を高める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学級、年に2回の栄養教諭による栄養指導を実施する。 ・給食週間の取組を年1回以上実施する。 ・日々の給食指導を通して食に関する指導の充実を図る。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立清水小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>【ICTの活用に関する目標を設定する】</p> <p>○本校教員の児童のICT活用を指導する能力に対する肯定的な割合を65%以上にする。</p> <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を75.4%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○デジタルドリルを週1回以上活用する割合を70%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策6-1 ICTを活用した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT等を活用した協働学習や個別学習の充実を図るための授業作りを行う <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台タブレット端末等を効果的に活用できる単元を発掘し、記録を残して次年度へ引き継ぐ。それにより、活用意欲が高まるようにする。 ・効果的に活用できる環境整備、指導方法の作成に取り組み、授業実践の充実を図る。 ・Teams等、双方向通信の効果的な実現に向けて、環境整備、取り組みを進める。 	
<p>取組内容②【施策7-1 働き方改革の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を精選し、円滑な会議進行を心がける。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をデジタル化して職員会議が効率的に進められるようにする。 ・職員朝会を必要最低限にとどめ、児童と向き合う時間を作る。 <p>（段階的実施で年度末には週1回）</p>	
<p>取組内容③【施策6-1 ICTを活用した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルドリルの活用を進める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジタイム等を活用し、児童が週1回以上デジタルドリルを活用する割合を70%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	